

競技注意事項

1. 競技規則について

- ①本大会は、2025年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。
- ②本大会では、スタートを電子音で行い、日本陸上競技連盟規則 TR16.7 により、音声や動作その他の方法で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外は行わない。
- ③シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さは、日本陸上競技連盟規則 TR5.2～TR5.6 により、~~800mm~~
~~未満の種目とフィールド種目は~~20mm 以内、競歩競技は 40mm 以内とする。また、千葉県総合スポーツセンターが使用を認めていないスパイクを使用しての競技参加は認めない。
- ④競技前、競技中、競技後に、競技靴などについて疑義が生じた場合、審判長は点検することができる。

2. 来場について

- ①原則として、有観客で実施し、健康状態に不安がない者の来場に制限を設けない。なお、政府等の発令や会場管理者による制限、感染状況の拡大に基づく主催者の判断によっては、予告なく制限することもある。
- ②会場での行動は、運営方針又は会場系の指示に従うこと。

3. ウォームアップについて

- ①ウォームアップは、本競技場・第2競技場を使用する。
- ②本競技場は、開門（8時）からトラック種目及び砲丸投のみとし第1競技開始10分前までとする。ただし、砲丸投は最終日のみとする。（ハンマー投および混成競技の砲丸投は、競技開始前の現地のみとする。）
- ③第2競技場は、開門（7時）からトラック種目のみとする。投擲練習中は投擲選手以外フィールド内に立ち入ることは出来ない。また、投擲種目は次の通りとし、監督がつかない場合は認めない。

【第2日目】 7:30～8:10 女子円盤投 8:10～8:50 男子円盤投

7:30～8:00 8種やり投

【第3日目】 7:30～8:10 男子やり投 8:10～8:50 女子やり投

【第4日目】 7:30～8:00 7種やり投

- ④ウォームアップは次のとおりに行う。

1～2 レーン周回

3～8 レーン短距離・リレー・ハードル ※ハードルは設置されたものを使用する

フィールド内芝生ジョギング・ドリル ※本競技場は競技運営の準備が開始されるまでとする

※投擲用ラインが設置されたエリアを除く

トラックでのジョギング及び集団走は禁止とする。また、状況に応じて変更する場合があるので、役員・係の指示に従うこと。

- ⑤現地招集の種目は、該当競技審判の指示に従って実施すること。
- ⑥競技場備え付け以外のトレーニング用具（特にチューブやメディシンボール、フレキハードルなど）を持ち込みは原則禁止とする。
- ⑦室内練習場は、安全上の理由から走幅跳・三段跳の各自の試技前の使用のみとする。
- ⑧競技開始後、ピストルの使用は禁止する。
- ⑨ジョギングコース（園路）は、ウォーキング、ジョギング以外で使用しない。
- ⑩陸上競技場以外の施設の敷地および付帯する駐車場を練習で使用しない。（特に野球場の駐車場）

4. 競技場について

- ①本競技場の競技走路及び助走路は全天候舗装である。スパイクシューズのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。また、ピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない（TR5.2）。土用のピンの使用は厳禁とし、その他に競技場の使用規則に従うこと。
- ②会場での行動は、運営方針又は会場系の指示に従うこと。

5. 招集について

- ①招集所は正面玄関前に設ける。
- ②招集開始及び完了時刻はプログラムの競技日程及び招集時刻表を参照すること。
- ③招集は、定められた時間以内に招集所で、競技者自らがアスリートビブス、競技用靴、衣類、持ち物等の点検を受ける。以上をもって招集を完了とする。
- ④招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ⑤「現地招集」は、競技開始前に現地でおこなう最終点呼をもって招集にかえる。

種 目	招 集 開 始	招 集 完 了
ト ラ ッ ク 競 技	3 0 分 前	2 0 分 前
走高跳・走幅跳・三段跳	7 0 分 前	6 0 分 前
砲丸投・円盤投・男子ハンマー投・やり投	7 0 分 前	6 0 分 前
女子棒高跳	9 0 分 前	8 0 分 前
男子棒高跳・女子ハンマー投	現地招集	—

- ⑥混成競技は両日ともに第1種目の招集開始及び完了時間は下記のとおりとする。ただし、2種目目以降の招集は競技開始時刻のトラック競技は20分前・フィールド競技は30分前に混成控所（第2救護室）で行う。

種 目	招 集 開 始	招 集 完 了
混成第1種目（トラック）	3 0 分 前	2 0 分 前
混成第1種目（フィールド）	4 0 分 前	3 0 分 前

- ⑦2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集所競技者係に申し出て【同時出場届】を受け取り、必要事項を記入し提出すること。
- ⑧招集完了後、トラック競技の選手は各ゲートの外で出発係の指示に従い、競技場に入場し、現地で点呼を受ける。また、フィールド競技の選手は競技場への入場を認め、審判の指示に従い公式練習を開始する。また、競技開始前に現地で点呼を受ける。
- ⑨リレー種目は、「10. リレー種目について」に記載する。

6. 棄権について

- 出場種目を棄権する場合には、招集開始時刻までに【欠場届】を招集所競技者係に提出すること。
【欠場届】は招集所で配布する。

7. 入退場およびコーチングエリアについて

- ①メインスタンドおよび芝生スタンドには、正面スタンド裏側および第1ゲート（フィニッシュ地点前方）と第3ゲート（200mスタート地点）から入退場し、競技役員・その時間の競技に出場する選手・補助役員・主催者が許可した者以外はグラウンドには立ち入らない。
- ②競技者の入退場は次のとおりとする。
- 100m・100mH・110mH
 - ・第3ゲートより入場し、第1ゲートより退場する。衣類等の輸送は各校で行う。スタート地点に戻る場合は、芝生スタンドを通行する。
 - 400m・800m・1500m・400mH・3000mSC・4×400mR・Aゾーン使用のフィールド競技
 - ・第1ゲート（フィニッシュ地点前方）を利用し、入退場する。
 - 走幅跳・三段跳
 - ・正面玄関より入場し、室内練習場で待機、正面玄関より退場する。
 - 4×100mR
 - ・1・2走者が第1ゲート（フィニッシュ地点前方）、3・4走者が第3ゲート（200mスタート地点）より入場する。退場は、第1・3ゲートとし、芝生スタンドに上がり各ゲートへ移動する。なお、衣類等の輸送は、各校で行い、スタンドおよび場外を通行する。
 - その他の種目
 - ・第3ゲート（200mスタート地点）から入場し、トラック競技は第1ゲートより退場、フィールド競技は第3ゲートより退場する。スタート地点に戻る場合は、芝生スタンドを通行する。なお、衣類等の輸送は、各校で行い、スタンドおよび場外を通行する。
- ③混成競技に出場する選手が混成控え所（第2救護室）に向かう際は、配布されたIDカードを着用して、正面玄関より入場すること。IDカードは第1種目の現地招集時に配布する。
- ④コーチングエリアを6か所設置する。（メインスタンド2カ所・両サイドスタンド1カ所ずつ・バックスタンド2カ所）コーチングエリアへの入場は、該当選手の試技時とし、指示後は速やかに退場すること。コーチングエリア内の居座りは禁止とする。
- ⑤更衣室の使用は女子のみとする。更衣室は更衣のみに使用する。

8. アスリートビブス・腰ナンバーカードについて

- ①アスリートビブスは2枚を胸部と背部にそのままの大きさにユニフォームにつける。ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部だけでもよい。
- ②トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバーカードをパンツ右側後方につける。
- ③競歩種目に関しては招集所で特別アスリートビブスを受け取り使用し、競技終了後ゴール地点で返却する。

9. トラック競技の抽選・番組編成について（レーン順・試技順）

- ①トラック競技予選の組・レーン順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。

- ②トラック競技の決勝の組、レーン順は本部で抽選し、招集所に掲示する。
 ③混成競技のトラック種目の組・レーン順、フィールド種目の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。

10. リレー種目について

- ①リレー種目においては、競技規則に準じてメンバーを選出すること。
 ②リレー種目に出場するチームは、各招集完了時刻の1時間前までに招集所に用意してあるオーダー用紙にオーダーを記入し提出すること。また、準決勝・決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無にかかわらずオーダー用紙にオーダーを記入し、それぞれの招集完了時刻1時間前までに提出すること。
 ③リレー種目に出走する4人の選手は、4人揃って招集開始から完了時刻までに招集所にて招集を受ける。
 ④リレー種目に出場するチームは、ユニフォームの形状を統一する必要はないが、デザイン・配色は統一すること。

11. 計時について

すべてのトラック競技は写真判定で行う。

12. トラック競技の準決勝・決勝進出について

①400mまでの種目及びリレー種目

同タイム者及びチームについては、写真判定を細部まで読みとり0.001秒単位で着差を判定する。それでも判定出来ない場合は、同成績とし、同タイム者、チームまたは代理人によって抽選する。

②800m・1500m・3000m・5000m・3000SCの同タイム者については、次のラウンドに進出させる。

13. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は次の通りである。(天候、その他の条件で変更する場合もある)

種 目	練 習	練 習②						
男子 走高跳	1 m 7 5	適宜	1 m 8 0	1 m 8 5	1 m 9 0	1 m 9 3	～3 c m	
女子 走高跳	1 m 4 0	適宜	1 m 4 5	1 m 5 0	1 m 5 5	1 m 5 8	～3 c m	
男子 棒高跳	3 m 5 0	適宜	3 m 6 0	3 m 8 0	3 m 9 0	4 m 0 0	～10 c m	
女子 棒高跳	2 m 3 0	適宜	2 m 4 0	2 m 6 0	2 m 8 0	2 m 9 0	～10 c m	
男子 混成走高跳	1 m 3 5	適宜	1 m 4 0	～5 c m	1 m 7 0	1 m 7 3	～3 c m	
女子 混成走高跳	1 m 2 0	適宜	1 m 2 5	～5 c m	1 m 4 5	1 m 4 8	～3 c m	

○第1位及び関東大会出場を決定するためにジャンプオフを実施する。

○混成競技は選手の申告によって変更する場合もある。

14. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、支柱移動申請書を招集所で受け取り、自分の希望する支柱（アップライト）の位置を記入し、公式練習開始前に跳躍審判員に提出するか、現地にて担当審判員に申告する。その位置を変更したい場合も、ただちに担当審判員に申し出ること。

15. 競技用具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意した物を使用する。ただし、個人所有の棒高跳用ポールは、検査に合格したものに関限り使用できる。（検査は現地で行う）

16. 制限タイムについて

長距離・競歩種目において競技運営上必要と認めた場合は、レースを中止させることがある。

ラスト1周が以下のタイムを超えてしまった場合

男子5 0 0 0 m	1 8 分	女子3 0 0 0 m	1 3 分
男子5 0 0 0 mW	2 7 分	女子5 0 0 0 mW	3 3 分

17. 入賞及び得点について

- ①入賞は8位までとする。南関東大会の出場権は6位までの入賞者とする。ただし、走高跳・男子棒高跳は6位までの入賞者6名とする。また、混成競技・女子三段跳・女子ハンマー投は4位までの入賞者、女子棒高跳は4位までの入賞者4名、競歩競技は5位までの入賞者とする。
 ②学校対抗得点は1位8点・2位7点・3位6点…6位3点・7位2点・8位1点とする。
 ③各種目合計得点により男女別学校順位を決定する。（同点の場合は上位種目の多い方を上位とする）

18. 表彰について

- ①開会式（優勝旗返還式）を第1日目9:00より行う。優勝旗返還該当校は優勝旗を準備すること。
 ②表彰は、種目別で8位までに入賞した競技者及びチームを競技終了後ただちに表彰を行うので表彰控え場所に待機していること。
 ③学校対抗表彰は男女8位までを閉会式で表彰する。

19. 競技場の中に商品名のついた衣類・バックを持ち込む場合について

競技場内に、下記規定以外の製造会社・ロゴがついた物品の持ち込みは、規定に抵触するので慎むこと。

- ①上半身の衣類 製造会社名／ロゴ：1 カ所・40cm²まで文字高さは5cm以内
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで前後に1つつまで。
- ②下半身の衣類 製造会社名／ロゴ：1 カ所・40cm²まで文字高さは5cm以内
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで1つつまで。
- ③バック・タオル（ブランケット含む）
製造会社名／ロゴ：1 個・最大40cm²まで文字高さは5cm以内
- ④ソックス・帽子・手袋（対になっているものはそれぞれに1つつ）
製造会社名／ロゴ：1 個・最大6cm²まで文字高さは3cm以内

20. 抗議について

競技規則 TR8 による。

21. 補助役員について

- ①競技開始30分前までに第1ゲート（フィニッシュ地点前方）外に集合する。
- ②補助員として競技場に入場する際は配布されたIDカードを身に付けること。

22. 清掃について

- ①自分で出したゴミは持ち帰りを原則とするが、競技終了後各地区で分担されている清掃場所から出たゴミについては分別処理をして所定の場所に捨てること。

- ②各地区常任委員清掃（消毒含む）分担箇所（下記の場所を責任を持って清掃すること）

第1支部	メインスタンド・スタンド裏通路及びトイレ（スタート側）
第2支部	芝生スタンド・競技場内（走路）
第3支部	競技場周辺（16号側緑地帯、モノレール下）第2競技場
第4支部	メインスタンド・スタンド裏通路及びトイレ（フィニッシュ側）

- ◎各清掃場所の確認は全日程において、全常任委員及び執行部で責任を持って行う。

23. 開門・場所取りについて

- ①本競技場

開門は8時とする。各地区に割り当てられた場所の指定された入場場所から、各校代表者2名以内が入場する。割り当てられた場所への入場が終了後は、自由とする。 *更衣室は控え場所として使用しない。

第1支部	（場所）スタンド裏100mスタート側	（入場）スタンド裏100mスタート側入口
第2支部	（場所）スタンド裏中央	（入場）スタンド裏中央入口
第3支部	（場所）1階駐車場側通路	（入場）正面玄関前
第4支部	（場所）スタンド裏100mフィニッシュ側	（入場）スタンド裏100mフィニッシュ側入口

- ②その他場所取り

- ・第2競技場内・16号側緑地帯・時計台下緑地帯・モノレール下緑地帯・芝生スタンド（以上、テント等設置可） ※モノレール下緑地帯は住宅地には近づくこと

- ③諸注意

- ・①②に記載された場所以外の場所取りは禁止とする。
- ・各校のテント・シート等の控え場所は1か所限定とする。ただし、芝生スタンドは含まない。
- ・テント、ターフ等の設置に使用したペグ類は、必ず撤去する（特に芝生スタンド）。
- ・樹木等にロープを巻き付ける等の傷めるような行動は慎む。
- ・控え場所での三密の回避および消毒を徹底する。
- ・モノレール下緑地帯については、他の施設の利用（駐車場を含む）や公園内の散策・通行の妨げにならない場所のみ使用可とする。また、主催者および公園管理者の指示に従うこと。
- ・各緑地帯は、毎日撤収し、マークや紐等で場所を確保することは禁止する。
- ・芝生スタンドにテント等を設置する場合、ロープ、ペグを使用し飛ばないように固定する。
- ・控え場所には、必ず1名は待機し、貴重品の管理を徹底する。
- ・各学校の荷物は全て毎日持ち帰ること。ただし、本競技場に設置した横断幕、第2競技場内のテントの骨組み、第2競技場内にブルーシートで覆い風で飛ばないようにした荷物は除く。残置物については、各校で責任を持つこと（専門部およびスポーツセンターは責任を一切負わない）。

24. その他

- ①競技会で発生した傷病は主催者側で応急処置をする。医務室はスタンド下フィニッシュ付近に置く。
- ②横断幕の設置を希望する学校は、初日の7:50に第3ゲート（200mスタート地点）外側に2名以内で集合し、入場順の抽選を行う。設置場所はメインスタンド・芝生スタンドともに最上段手すりのみとし、テー

ブ類は用いず紐等でしっかりと固定し、各校で責任をもって管理する。設置後は、最終日までそのままかまわない。のぼりの設置は認めない。

- ③貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分注意すること。
- ④トランシーバー・携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ（受信機能のあるもの）・ビデオカメラ・音楽再生機器等を競技場内に持ち込むことはできない。
- ⑤3000mSC 及びやり投に出場する選手は、安全のため必ずスパイクシューズを着用すること。
- ⑥三段跳の踏切位置は男子 11m、女子 9mとする。
- ⑦投てき競技に出場する選手は炭酸マグネシウムを持参することが望ましい。
- ⑧競技場での日傘の使用は禁止とする。ただし、フィールド競技のみ天候に応じて認める。
- ⑨選手の本部への立ち入りを禁止とする。
- ⑩天候の急変時（特に落雷）は、競技を一時中断し、その後、競技時間や競技日程を変更する場合がある。

25. 南関東大会の申し込みについて

各種目 6 位（走高跳・男子棒高跳は 6 位 6 名）まで、また混成競技・女子三段跳・女子ハンマー投は 4 位、女子棒高跳は 4 位 4 名、競歩競技は 5 位までの各競技者および各校は南関東大会の大会要項を T I C にて受領すること。

- ・南関東大会申込締め切りおよび打合せ 5 月 21 日（水） 10 時 30 分（時間厳守）
- ・申込持参先 千葉県総合スポーツセンター陸上競技場会議室